

公共施設の再配置に関する市民アンケート (0215)

市民の皆様には、日頃から市政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

本市では、これまで、経済発展や人口増加を背景に、多くの公共施設を整備してきましたが、いずれの施設も老朽化が進み、大規模な修繕や建替えが必要な状況にあります。また、人口減少・少子高齢化といった人口構成の変化や公共施設に対する市民ニーズの変化など公共施設を取り巻く状況も大きく変化していることから今後の公共施設のあり方について検討することが喫緊の課題となっています。現在、今後の公共施設の適正な管理運営に向けて、各種取組みを進めておりますが、まちの将来像を見据えた「公共施設の再配置」を検討するうえで、市民の皆さまのお考えをお聞きしたいと思います。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年●月

大阪狭山市長 古川 照人

Q R

◆インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。

- ・左記のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
- ・インターネットで回答された方は、郵送での回答は不要です。

◆記入にあたってのお願い

- ・公共施設の再配置に関するアンケートは5ページ目からとなります。
- ・冒頭の4ページでは、本市のまちづくりの考え方や、公共施設マネジメントに関するこれまでの取組について紹介しています。そちらをご覧くださいからご回答ください。

◆調査対象

調査は、無作為に抽出した16歳以上の市民3,000人を対象に実施しています。
調査は無記名でご回答いただき、その結果は統計的に処理して利用させていただきます。
また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

◆アンケートの回収について

まことに勝手ながら集計の都合上、調査票に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に封入し、
〇月〇日(〇)までに、切手を貼らずにポストにご投かんください。

◆アンケートに関する問い合わせ先

大阪狭山市 総務部 行財政マネジメント室(担当:那谷、高木)

電話:072-366-0011(代表) FAX:072-367-1254

Eメール:kanzai@city.osakasayama.osaka.jp



本アンケートでいただいたご意見は、2024年9月に策定予定の「公共施設再配置計画」に反映させていく予定です。

なお、具体的な建設位置や事業手法、複合化する機能の詳細や規模などは、再配置計画策定後に予定していますそれぞれの施設の「基本構想」等の策定段階において検討してまいります。

本市のまちづくりの方向性(将来都市構造)について

公共施設は、行政サービスの拠点としてだけではなく、まちの賑わいや交流を促し、市民活動を支える拠点といった機能も有しています。現在の公共施設は建てられてから数十年が経過しており、まちの姿も市民のニーズも建設当時とは大きく変化しているため、建替えを計画する時には、将来のまちづくりを見据えた配置の検討が必要です。

本市の最上位計画である第五次総合計画※¹では、将来の都市構造について、以下のように示しています。 ※¹ 計画期間：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）



○本市の将来都市像（大阪狭山市第五次総合計画 都市構造図）

公共施設をとりまく状況などについて

○ 人口の見通し

本市の人口は、今後緩やかに減少に転じ、少子高齢化が一段と進むと予想されています。また、生活様式の多様化などにより公共施設に対するニーズも変化していくことが考えられます。

○ 公共施設の老朽化

公共施設の多くが高度経済成長期に整備され、老朽化により今後、更新時期が集中することが考えられます。大阪狭山市公共施設等総合管理計画では、公共施設を現状のまま維持した場合、今後 40 年間の修繕・改修・更新費用は、年平均約 14.2 億円と見込んでいます。



公共施設をとりまく状況が大きく変化しているから、公共施設のあり方を検討することが課題になっているんだ

これらの課題に対応するため、本市では、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」や「大阪狭山市公共施設再配置方針」を策定し、公共施設マネジメントの理念や数値目標を以下のように挙げています。

公共施設マネジメントの理念

- ・人口構成やニーズの変化に対応した機能の提供
- ・効率的・効果的な行政サービスの提供
- ・予防保全による長寿命化と総量縮減による更新費用等の抑制

数値目標

公共施設総延床面積
約 10% 削減

理念や数値目標などを踏まえ、施設や機能（公共サービス）の提供が将来も持続可能となるよう中長期的な視点から公共施設の再配置の取り組みを進めています。

再配置に対する主な市民意見について（令和 4 年度市民アンケート結果より）

令和 4 年度に実施した市民アンケート※¹で、公共施設の再配置にあたって、「どのような施設から再配置を検討すべきか」、「今後施設を適切に維持管理していくために積極的に実施すべき手法」について伺ったところ、次の意見が多く見られました。

※市民アンケート：無作為抽出した 16 歳以上の市民 3000 人が対象。有効回収率は 37.0%

質問

どのような施設から
再配置を検討すべき？

積極的に実施していく
手法は？

多く見られた意見

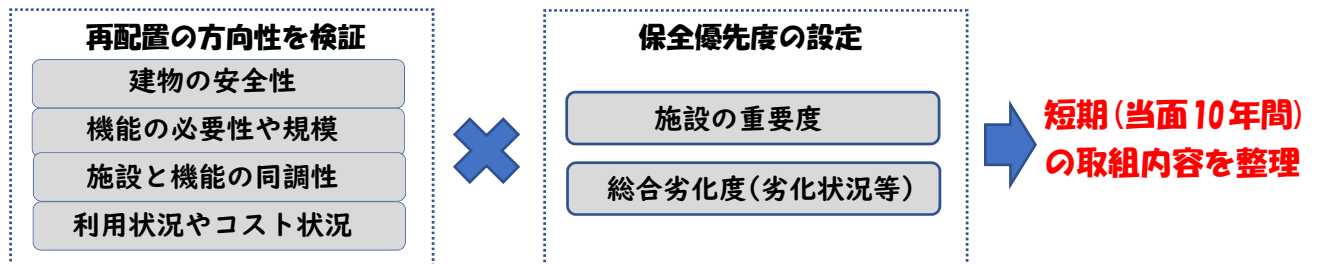
○あまり利用されていない施設
○老朽化が著しい施設

○複合化により機能集約を行う
○利用されていない施設や土地
から収入を得る



再配置の方向性及び優先度について（大阪狭山市公共施設再配置方針より）

令和4年度に実施した市民アンケート結果も考慮し、策定した大阪狭山市公共施設再配置方針（令和4年度策定）では、公共施設の再配置を検討するにあたり、「建物の安全性」を最も重要な要素とした上で、「機能（公共サービス）の必要性や規模の適正化」、「施設と機能の同調性」、「利用状況やコスト状況」などの視点から、各施設が短期（当面10年間）で取り組むべき内容を整理しています。



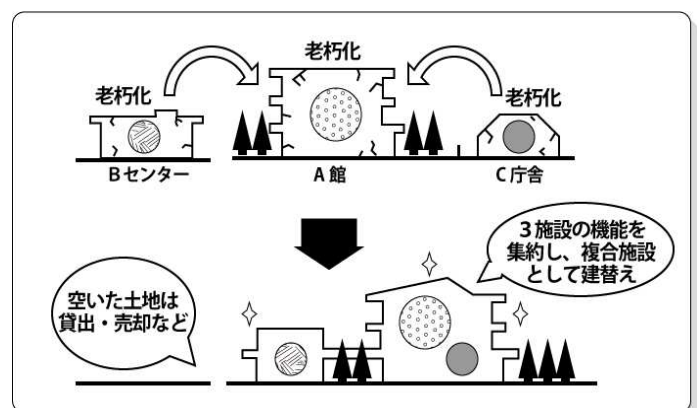
短期での取組内容	該当する施設名称
当面維持 (14施設)	市役所(本庁舎)、消防署、総合体育館、文化会館、池尻体育館、消防署ニュータウン出張所、さやか公園防災備蓄倉庫、東大池公園防災備蓄倉庫、学校給食センター、教育支援センター、斎場、野球場、市民総合グラウンド/山本テニスコート、子育て支援・世代間交流センター(UPっふ)
短期で再配置を想定する施設 (11施設)	庁舎南館、図書館・公民館、心身障害者福祉センター及び母子父子福祉センター、保健センター、コミュニティセンター(ニュータウン連絡所含む)、社会教育センター、市史編さん所、子育て支援センター(ぼっぼえん)、障害者地域活動支援センター
当面維持 (中長期で再配置を想定する施設) (8施設)	東放課後児童会、北放課後児童会、第七放課後児童会、旧くみの木幼稚園、牛乳パック整理作業所、社会教育グループ倉庫、第三青少年運動広場/大野テニスコート、シルバー人材センター
譲渡・廃止 (1施設)	西池尻連絡所
引き続き検討 (5施設)	ふれあいスポーツ広場、旧狭山・美原医療保健センター(休日診療所)、市民ふれあいの里(花と緑の広場、スポーツ広場、青少年野外活動広場)

課題解決に向けた取り組みについて（施設の複合化の推進）

課題解決に向けた取り組みの一つとして、施設の「複合化」が挙げられ、例えば以下のようなメリットが考えられます。

- ①1箇所で複数のサービスが受けられる
- ②利用者同士の交流やにぎわいが生まれる
- ③建物をコンパクトにできる
- ④地域の拠点として安全・安心の提供
- ⑤跡地等の活用で新たな価値を創造
- ⑥公民の連携がとりやすい

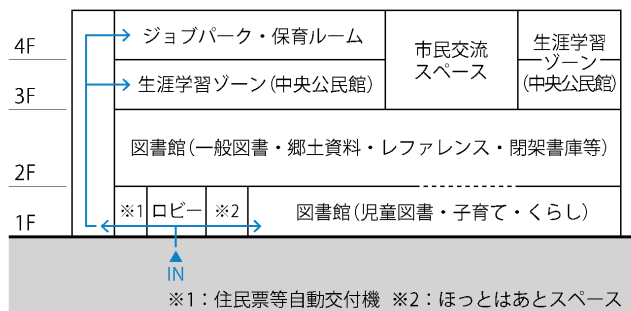
建替えに合わせて複合化（機能集約）するイメージ



●複合化の事例 市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）

市の玄関口に情報交流機能を集約／機能移転に伴い旧施設を再編

- ・福知山駅の北側広場に隣接する敷地に整備された複合施設（2014年6月開設）。
- ・「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」をコンセプトに、図書館と中央公民館を旧市民会館から移設し、情報交流機能の集積を図っている。
- ・旧市民会館は耐震改修の上で、中央保健福祉センター・障害者生活支援センター・男女共同参画センター・人権推進室など健康・福祉・人権に関する公共機能を再編（2015年5月リニューアル）。

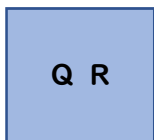


（出典・参考）福知山市ホームページ

大阪狭山市の取り組みのご紹介

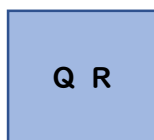
公共施設に関する計画等の策定について、現在の取り組み（公共施設再配置計画策定委員会）の状況等をホームページでご覧いただけます。

大阪狭山市公共施設等 総管理計画



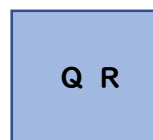
（策定済）

大阪狭山市公共施設 再配置方針



（策定済）

大阪狭山市公共施設 再配置計画策定委員会



（策定に向けて検討中）



これまでの取り組みの内容や、現在の状況等の詳細は、上のQRコードを読み込めばホームページにアクセスできるよ

現在、策定に向け検討作業中の関連計画・方針等

大阪狭山市立地適正化計画

「コンパクトシティ+ネットワーク」の視点から、市全体の居住を含めた都市機能の誘導と拠点形成、公共交通ネットワーク形成等に関する計画です。計画策定（令和6年12月予定）に向け、現時点の骨子案に対する市民意見を募集しています。

Q R

（募集期間：令和6年4月〇日～30日まで）

大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針

子どもたちにとって望ましい教育・保育環境の実現に向け、具体的な対策や方向性について示した方針です。方針策定（令和6年7月予定）に向け、現時点の素案に対する市民意見を募集しています。

（募集期間：令和6年4月〇日～〇日まで）

※詳しくは市HPまたは上記QRコードをご覧ください。

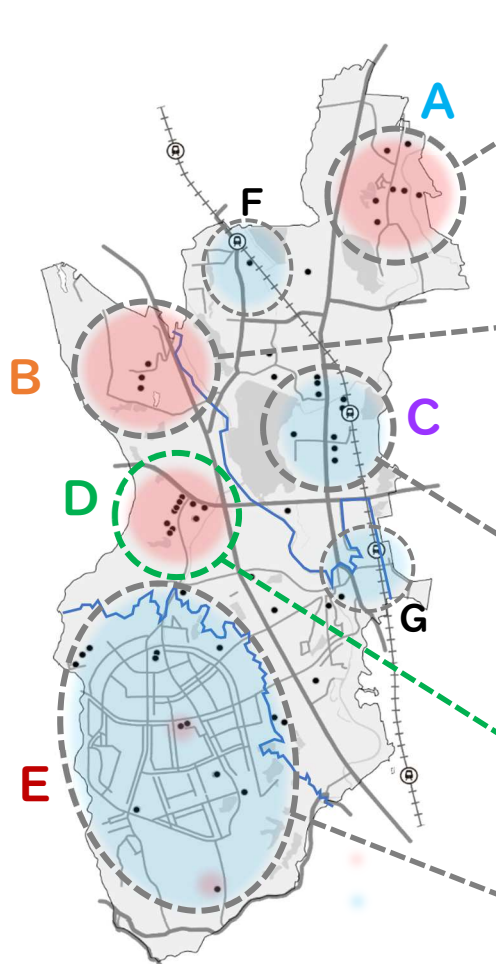
次のページからアンケートになります



問Ⅰ 短期に実施していくエリアについてお尋ねします

第五次総合計画で示されているまちづくりの方向性(将来都市構造)と、エリアや拠点ごとに、現在立地している公共施設を整理すると以下のとおりです。

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。



エリア	拠点やエリアの内容 (第五次総合計画)	エリア内の主な公共施設 (再配置方針対象施設)
A にぎわい・レクリエーション拠点	水とみどりのネットワーク上の拠点となり得るみどり空間として、市民が交流できる環境づくりを進めます。	市民ふれあいの里、旧狭山・美原医療保健センター、斎場など
B スポーツ・レクリエーション拠点	市民が利用しやすく憩える環境づくりを進めます。	総合体育館、市民総合グラウンド/山本テニスコート、野球場
C 大阪狭山市駅周辺活性化エリア	人々が親しみ集える場となるよう整備を進めます。	子育て支援・世代間交流センター、消防署、市役所、 市役所庁舎南館 、文化会館、など
D 福祉・文化拠点	市民が利用しやすく集まりやすい環境づくりを進めます。	図書館、公民館、保健センター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター、障害者地域活動支援センター、市史編さん所 など
E 狭山ニュータウン活性化エリア	関連計画に基づいた取組を進めるとともに、若年層の流入を促す視点で、住宅や土地の流動性を高める取組を進めます。	学校給食センター、ふれあいスポーツ広場、 子育て支援センター、コミュニティセンター 、消防署ニュータウン出張所、旧くみの木幼稚園 など

※狭山駅周辺活性化エリア (F)
金剛駅周辺活性化エリア (G)

再配置方針において「短期に再配置(見直しや建替え)を想定する施設」に位置付けられている施設

著しい老朽化等により短期に再配置(見直しや建替え)を想定する施設がDエリアに集積しています。そのため、Dエリアの取り組みを優先的に進めたいと考えています。

Dエリアの取り組みを優先的に進めていくことを想定していますが、Dエリアの取り組みを進めるにあたって、今後あなたが参加したいと思えるものすべてに○印をつけてください。

- 1 タウンミーティング(市長や、有識者を含めた意見交換)
- 2 ワークショップ(具体的にどのような施設にしたいか等をみんなで議論)
- 3 講演会・説明会(有識者や市の担当者からの講演・説明を受ける)
- 4 アンケート(市からの配布や、インターネットでの質問項目についての回答する)
- 5 その他()
- 6 どれも参加したいと思わない

問2 Dエリアにおける将来像についてお尋ねします

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。

第五次総合計画ではDエリアを「福祉・文化拠点」として設定し、市民が利用しやすく集まりやすい環境づくりを進めていくとしています。

【(案) 取り組みのイメージ】

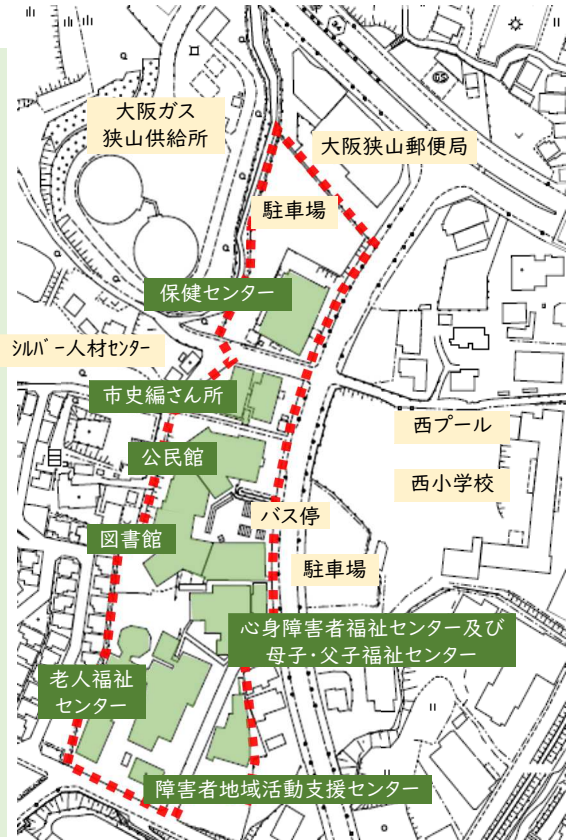
第五次総合計画で設定した、「福祉・文化拠点」として、「憩い・にぎわい・学び」をコンセプトに、エリア一体での空間形成に向けて、既存の施設や機能（Dエリア以外の施設や機能を含む）の複合化や集約化、民間との連携、※交通結節点の設置などを視野に再配置の検討を進めます。



「憩い・にぎわい・学び」の空間づくり

※交通結節点：バス、タクシーなど交通手段の接続が行われる乗り換え拠点

Dエリアの現在の主な施設の立地状況



Dエリアの将来像についてお聞きます。

Dエリアやエリア周辺が将来どうなっていれば、利用したくなるかあなたの考えに最も近いものを3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 建物の安全性が高く、災害時に避難できる
- 2 複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい
- 3 建築物のデザイン・意匠性が高い
- 4 人が集まりにぎわいがある
- 5 ゆっくり過ごすことができる
- 6 様々な世代と交流できる
- 7 自分と同じ世代と交流できる
- 8 所属している団体等で使用できる空間(会議室や多目的室など)がある
- 9 一人で使用できる空間(仕事や自習など)がある
- 10 子どもを連れて楽しめる
- 11 イベント等が開催している
- 12 その他()

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。

「第五次総合計画」や、「(案) 取り組みのイメージ」に基づき、Dエリアにおける取り組み(再配置)の一例として、表1のようなことも考えられます。

充実させる機能など（事業概要）	※複合化する機能の詳細イメージ
取り組みを進めるにあたっては、下記の機能の充実や、視点を考慮しながら、施設の建替え等に併せた効率的かつ効果的な再配置の検討を行います。 ・図書館機能 ・生涯学習支援機能 ・市民活動支援機能 ・子育て支援機能 ・保健機能 ・高齢者の生きがいづくり機能 ・障がい者活動支援機能 ・防災機能 ・各種機能融合による質や利便性の向上 ・民間との連携による新たな付加価値の創出 ・施設の複合化による維持管理費等の縮減 ・交通結節点の形成	一般・児童図書の貸出 学習スペース 会議室、団らん室 ホール、ホワイエ（交流空間） 貸室 プラネタリウム 多目的スペース スタジオ（音楽、創作、料理） シャワールーム、トレーニングルーム プレイルーム 健康促進空間（健康相談、予防接種） 各種事務所 あそびの広場 雨天利用可能な屋外空間 癒し、くつろぎ広場 商業サービス（施設内での飲食、物販）

今後、Dエリアの取り組みを進めるにあたって、あなたが充実させるべきと考える機能は以下のどれですか。あなたの考えに近いものを5つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 7

問4 Dエリアの施設の利用状況についてお尋ねします

あなたは、Dエリアに立地する以下の施設を普段どのくらい利用しますか。施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。また、「①利用頻度」で「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで（複数回答可）、番号に○印を付けてください。なお、エ）～カ）の施設は、利用対象の方のみお答えください。

以下の各施設について、 それぞれお答えください	項目	①利用頻度	②利用していない理由（複数回答可）
		（過去一年間で） 1：週に1回以上 2：月に1回以上 3：年に数回程度 4：利用していない →②へ	1：アクセスが不便 2：施設自体を知らない 3：利用時間や利用料金に不満 4：設備に不満（古い、狭い等） 5：他市や民間の類似施設を利用 6：利用する機会がない 7：その他→③へ
（記入例）		1 2 3 ④	1 ② 3 4 5 ⑥ 7
ア）保健センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
イ）公民館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
ウ）図書館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
以下の施設は、利用対象の方のみお答えください			
エ）老人福祉センター（60歳以上）		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
オ）障害者地域活動センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
カ）心身障害者福祉センター及び 母子・父子福祉センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7

③ ②利用していない理由で、「7 その他」を選択した理由をお聞かせください。

その他、本市の公共施設のあり方についてご意見がございましたらご記入ください。（自由記入）

最後に、あなたご自身についてお尋ねします

次の各項目について、該当するものをそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

(ア) 年齢	1: 16～19歳 3: 30～39歳 5: 50～59歳 7: 70～79歳	2: 20～29歳 4: 40～49歳 6: 60～69歳 8: 80歳以上
(イ) 家族構成	1: ひとり世帯 3: 二世帯世帯(親と子) 5: その他()	2: 夫婦のみ世帯 4: 三世帯世帯(親と子と孫)
①就学前の乳児・幼児	1: いる()人	1: いない
②小学生・中学生	2: いる()人	2: いない
(ウ) お住まいの小学校区	1: 東小学校区 3: 南第一小学校区 5: 北小学校区 7: 第七小学校区	2: 西小学校区 4: 南第二小学校区 6: 南第三小学校区
	★校区がわからない場合はお住まいの地区名をご記入ください () (例: 狭山1丁目)	
(エ) 居住年数 ※現住所でのお住まいの年数	1: 5年未満 3: 10～19年	2: 5～9年 4: 20年以上



以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた本票は、同封の返信用封筒に封入し、
○月○日(○)までに、切手を貼らずにポストにご投函ください。